

## 2010年度の保険事故の特色

独立行政法人日本貿易保険  
債権業務部

## 1. はじめに

日頃、お客様におかれましては、貿易保険へのご理解、ご協力をいただいております。誠にありがとうございます。「保険事故の特色」の掲載は今回で3度目となります。

2008年度は、世界経済の落ち込みを受け、信用危険事故の発生件数、金額とも増大しました。翌2009年度は、2008年度に発生した事故の保険金を支払った年でした。2010年度について、どのような特色があるか、事故データ<sup>1</sup>をもとにご紹介いたします。

## 2. 2010年度の保険事故発生と保険金支払いの実績

## (1) 信用危険 / 非常危険別

(単位: 百万円)

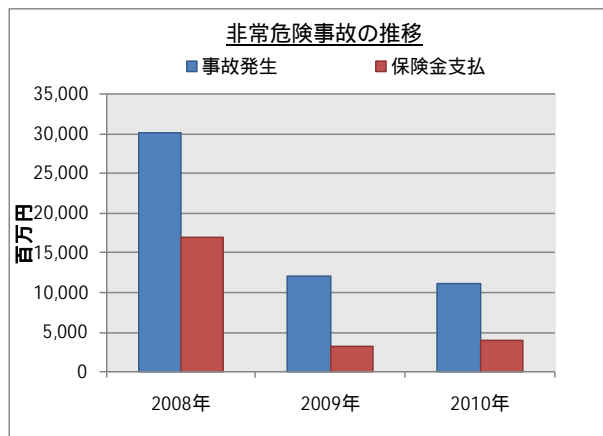
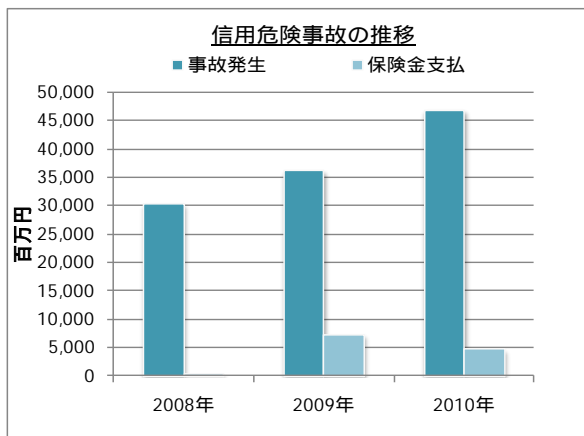
区分	危険区分		2008年度	2009年度	2010年度	前年比
事故発生	信用危険事故	金額	30,280	36,151	46,734	129%
		件数	425	709	283	40%
	非常危険事故	金額	30,104	12,031	11,094	92%
		件数	647	234	140	60%
	金額合計		60,384	48,182	57,828	120%
	件数合計		1,072	943	423	45%
保険金支払	信用危険事故	金額	301	7,176	4,603	64%
		件数	29	64	64	100%
	非常危険事故	金額	16,858	3,268	3,972	122%
		件数	259	129	38	29%
	金額合計		17,159	10,445	8,574	82%
	件数合計		288	193	102	53%

上記テーブルのとおり、2010年度の事故発生全体を前年度と比較すると、世界経済の回復に伴い件数は半減したものの、特定のバイヤー向け信用危険の大型事故により、金額ベースでは2割増となりました。信用危険事故については、件数では6割減であった一方、金額ベースは3割増でした。他方、非常危険事故の発生については、件数は信用危険事故と同様大きく減少し、金額ベースでも1割弱の減少となりました。

保険金支払いは、全体では金額、件数共に減少しました。信用危険事故による保険金支払いは、

<sup>1</sup> 2011年5月末時点のデータに基づく

前年度比で件数に変化はなかったものの、金額では4割減でした。非常危険事故による保険金支払いについては、件数は7割減であった一方、金額ベースでは2割増でした。



## (2) 地域別

### 2010年度の実績

(単位:百万円)

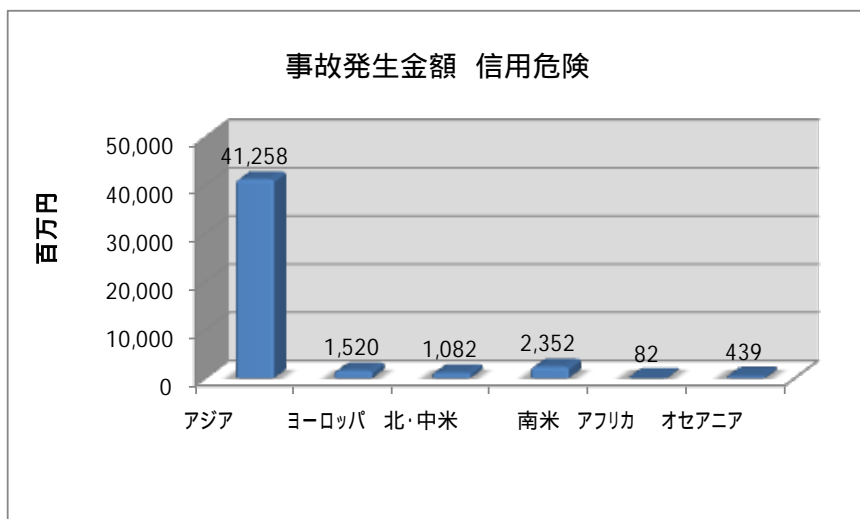
地域	事故発生金額		保険金支払金額	
	信用危険	非常危険	信用危険	非常危険
アジア	41,258	4,166	1,068	11
ヨーロッパ	1,520	687	1,292	0
北・中米	1,082	2,844	2,242	2,851
南米	2,352	2,514	0	1,084
アフリカ	82	883	0	26
オセアニア	439	0	0	0
合計	46,734	11,094	4,603	3,972

### 事故発生状況

地域別の事故発生金額ならびに保険金支払金額は上記テーブルの通りです。2010年度も引き続き、信用危険事故の大半は主にアジア(中近東を含む)で発生しています。

非常危険事故は、昨年度同様、アジア(中近東を含む)、北・中米及び南米で多く発生しました。事故発生事由についてみると、アジア(中近東を含む)では「国連等経済制裁」、南米では「為替取引の制限」、中米地域では「外貨送金遅延」と、地域の特徴があります。

信用危険事故については、昨年度と比較して、件数は大幅に減少したものの、特定のパイヤー向け事故により、保険事故金額が昨年度を上回るものとなりました。特に、アジア(中近東を含む)での事故発生金額が前年度比44%増と大幅に増えました。



**保険金支払い状況**

非常危険事故による保険金支払いでは、2009年度に中米地域において「外貨送金遅延」を事故事由とした保険金支払いを実施した案件について、2010年度も引き続き、保険金を支払いました。非常危険事故の発生した地域とは異なり、保険金支払い国は、2010年度も昨年度と同様に北・中米、南米に集中しています。

世界経済の回復を受けて、今年度は信用危険事故による保険金支払いが2009年度比で大幅減となりました。地域別で見ると、アジアでの保険金支払金額が大きく減る一方、北・中米で増えています。

## 3. 2010年度信用危険事故の事故発生金額の分析

## (1) 保険種別

保険種	包括区分	金額(百万円)	構成比	件数	構成比
貿易一般	企業総合	5,931	12.7%	211	74.6%
	一般企業	11,768	25.2%	17	6.0%
	組合	27,587	59.0%	14	4.9%
	個別	1,393	3.0%	30	10.6%
限度額設定型	-	0	0.0%	0	0.0%
輸出手形	-	51	0.1%	9	3.2%
再保険(受再)	-	0	0.0%	0	0.0%
中小企業	-	4	0.0%	2	0.7%
貿易代金貸付	-	0	0.0%	0	0.0%
海外投資	-	0	0.0%	0	0.0%
海外事業資金貸付	-	0	0.0%	0	0.0%
合計		46,734	100.0%	283	100.0%

保険種毎の信用危険事故発生金額は、2009年度までの傾向に比べ、組合包括保険での事故発生金額が大きく増えました。

## (2) バイヤー格付別

危険区分	バイヤ格付-引受時	金額(百万円)	構成比	バイヤー数	構成比
信用危険	GA	8,250	17.7%	1	2.4%
	GE	2,360	5.1%	2	4.9%
	EE	27,063	57.9%	1	2.4%
	EA	4,636	9.9%	4	9.8%
	EF	3,216	6.9%	31	75.6%
	PU	1,165	2.5%	1	2.4%
	SA	43	0.1%	1	2.4%
合計		46,734	100.0%	41	100%

バイヤー格付別では、EF格に事故が集中しています。ただし、金額ベースでは、EE格が事故発生金額の約6割を占めております。

バイヤー格付けの内容はこちらのHPを御覧ください

<http://www.nexi.go.jp/product/confidence/>

## (3) 填補範囲別

危険区分	てん補範囲	金額(百万円)	構成比	件数	構成比
信用危険	船積前	31,236	66.8%	9	3.2%
	船積後	15,447	33.1%	265	93.6%
	その他	51	0.1%	9	3.2%
合計		46,734	100.0%	283	100.0%

填補範囲別では、金額ベースで「船積前」の事故が「船積後」を超えています。「船積後」の保険事故は、2009 年度と比較して、件数、金額共に大幅に減少しております(約 6 割減)。

## (4) 信用危険事故のまとめ(事故発生の特徴)

2009 年度の上期(2009 年 4～9 月)をピークに、信用危険事故の発生件数は減少・鈍化傾向にあり、2010 年度下期は 100 件前後まで減っております。事故多発に対応するお客様各社のリスク管理強化、損失防止・軽減への積極的な対応の成果によるものと考えられます。他方、金額ベースでは、2010 年上期まで減少傾向にあったものの、下期にはアジア(中近東を含む)において信用危険事故が数件発生したことから前年同期比 50%増の 300 億円を超えております。

## 4. おわりに

2010 年度の保険事故は、発生件数では 2009 年度から大幅に減ったものの、金額ベースでは増加し、特に、大型案件の信用危険事故が目立ちました。

お客様におかれましては、引き続き損失防止・軽減へのご協力を願います。万が一、保険事故が発生しましたら、下記までご連絡ください。

保険事故等に関連して、保険の内容や保険金請求等の各種手続き等について、ご質問・ご不明な点等がございましたら、ご遠慮なく NEXI の下記窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ先： 日本貿易保険(NEXI)債権業務部 査定回収グループ  
TEL:0120-673-094(フリーダイヤル)

以上